



コロナ感染防止のためZOOM会議とする。

第30回総会資料

# 千葉の会の19年度の活動実績と 今後の課題

会場：船橋市勤労市民センター

2020年5月10日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会

会長 梅田 正造



# 千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介①

私たち「**千葉骨髓バンク推進連絡会**」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、**ドナー登録の推進**や**日本骨髓バンク**を支援する活動を行っているボランティア団体です。また、**造血幹細胞移植医療体制の充実**を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて**正しく理解**して頂くための**普及活動**も行っています。

当会は、**91年2月**に結成され、現在に至っています。会員は患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。そして一人でも多くの患者さんとその家族が**笑顔を取り戻す日**が来るように、医療講演会・相談会及びチャリティコンサートの開催、各地の健康まつりや市民まつり等での宣伝活動、ドナーの骨髓提供環境の向上のために関係機関への改善の要望、千葉県のドナー登録者**2万人**を目標に**献血併行登録会**の開催、パンフレット・会報の発行による**社会啓蒙活動**などを行っています。

また、千葉県の公的機関である**千葉県造血幹細胞推進協議会**にボランティア団体の代表として参加しています。



# 千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介②

## 活動内容

- 定例会  
毎月第1日曜日に船橋市市民活動サポートセンター(船橋駅前フェイス5階)にて定例会を開催しています(総会は5月)
- ドナー登録会  
日本赤十字社献血会場での併行登録会に協力(県市町村役場、大学、ショッピングセンター、企業、繁華メッセ、健康祭り、イベントなど)
- 普及啓発活動
  - ①ドナー登録会での普及啓発
  - ②チャリティコンサートと落語会の開催
  - ③会報の作成と各団体、医療機関等への配布
  - ④「あやちゃんの贈り物展」、「MAMOのメッセージ展」、「いのちの輝き展」等の開催
  - ⑤アクアラインマラソン、県内各地の健康祭り、イベント、企業祭り等でのPR活動
  - ⑥街頭キャンペーン  
10月強化月間、各種記念キャンペーン、キャンペーン
  - ⑦ポスターの掲示、チラシ・ティッシュの配布、募金箱の設置、報道機関へのイベント掲載依頼
- 各種団体への支援要請
  - ①県、市町村、千葉県赤十字血液センターへのドナー登録促進要請
  - ②ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等への支援要請
- ドナー支援  
骨髓移植ドナー支援事業、ドナー助成金制度・ドナー休暇制度導入を県市町村、事業者団体等に働きかけ
- 患者支援
  - ①白血病フリーダイヤルへの相談員派遣
  - ②患者家族向け小冊子の配布
  - ③全国骨髓バンク推進連絡協議会に設置されている患者支援基金の紹介
  - ④患者さん用ケア帽子の作製と病院への寄贈



## 始めてみませんか

ボランティアとしてどなたにでも出来る事がいろいろあります。  
“骨髓バンク=登録”だけが全てではありません。さあ、あなたも出来る事から始めてみませんか。

### 会員になる

年会費：3,000円(学生1,000円)

定例会は、毎月1回開催

会員の方には、活動報告やイベントのご案内を掲載した会報を随時郵送致します。

現在、会員数約40名

### 参加する・PRする

何かやってみたくになったらお気軽に声を掛けて下さい。例えば、イベントでのティッシュ配りなど少しでもお手伝い頂ければ助かる事が色々あります。

参加することで新たな交流も生まれます。

日常のPRの一環として、骨髓バンクのポスターやパンフレット、患者支援募金箱を、あなたの会社や学校、お店や事務所などに置いて下さいませんか。

### 募金する

ボランティア団体として地域に根ざした積極的な活動を進めるため、資金面でのご協力を募ります。当会の運営は、会費と皆様からのご寄付によって支えられております。

【郵便振替】00160-6-547168  
千葉骨髓バンク推進連絡会 へて

切手、はがき(書き損じも可)などによるご寄付もお受け致します。

### 相談する

(主催：認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

患者さんや家族のための窓口です。

毎週土曜日10時～16時

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929  
(第2・第4週は血液内科専門医も相談に応じます)

# 千葉骨髓バンク 推進連絡会

白血病などの血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進やドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。



全国キャラバンにて千葉県赤十字血液センター訪問 (H27年6月)

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方  
TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marow.or.jp/chiba/>

郵便振替口座 00160-6-547168

ゆうちょ銀行 店番019-0547168







# 全国骨髓バンク推進連絡協議会①

特定非営利活動法人・**全国骨髓バンク推進連絡協議会** (略称: 全国協議会)には、日本全国で骨髓バンク推進のために草の根運動を展開している**ボランティア団体**が**会員として加盟**しています。

その加盟団体は主に都道府県単位で一つの団体を構成しています。2020年3月現在の加盟団体数は**37団体**、協力団体**24団体**で、**全国**でボランティア活動を推進しています。

**千葉骨髓バンク推進連絡会 (千葉の会)** は、全国骨髓バンク推進連絡協議会の会員です。

千葉の会の**梅田正造会長**は、**全国協議会の副理事長**を務めています。また**厚生労働省**の造血幹細胞移植委員会委員、造血幹細胞移植医療体制整備事業選定\_評価会議委員、**日本骨髓バンク**の評議員、**千葉県**の造血幹細胞移植推進協議会委員等に就任しています。



仲田順和 会長  
(13年6月就任、  
醍醐寺座主)



田中重勝 理事長  
(17年7月就任)



梅田正造 副理事長  
(17年7月就任)  
千葉の会会長



## 全国骨髄バンク推進連絡協議会②

## 役員と所管

任期 2019年7月1日～2021年6月30日

役職	氏名	所管
会長	仲田 順和	(醍醐寺座主)
副会長	渋谷 俊徳	(会社社長、一般社団法人会長)
副会長	東井 朝仁	(元厚生労働省、一般社団法人理事長)
副会長	野村 正満	(放送作家、元運営委員長、前理事長)
理事長	田中 重勝	全体統括、ブロックセミナー(東海北陸)
副理事長	村上 忠雄	協議会会計、渉外(東日本、要望時対応)、「白血病と言われたら」編集委員、事務局支援
副理事長	若木 換	患者支援(佐藤きち子基金)、東京マラソン(事務局支援)ブロックセミナー(関東甲信越)、設立30周年記念大会担当
副理事長	梅田 正造	東京マラソン(統括)、協議会ニュース編集、ホームページ、事務局支援
副理事長	山村 詔一郎	協議会ニュース編集、渉外担当(西日本)
理事	菅 早苗	患者支援(基金総括)、ブロックセミナー(東北)
理事	加藤 弦	19年12月逝去 (ブロックセミナー(北海道))
理事	笠原 千夏子	協議会ニュース編集、ブロックセミナー(関東甲信越)
理事	北折 健次郎	WBMT対応、国際交流(医療アドバイザー)
理事	山口 明大	協議会ニュース編集、ブロックセミナー(中四国)
理事	浅野 祐子	患者支援(こうのとりにん基金)、「白血病と言われたら」編集委員、ブロックセミナー(近畿)
理事	辻 枝雄	患者支援(志村大輔基金)、「白血病と言われたら」編集委員、ブロックセミナー(九州)
監事	陽田 秀夫	(一級建築士、元運営委員長)
監事	一樂 邦彦	(弁護士)



## 全国骨髄バンク推進連絡協議会③

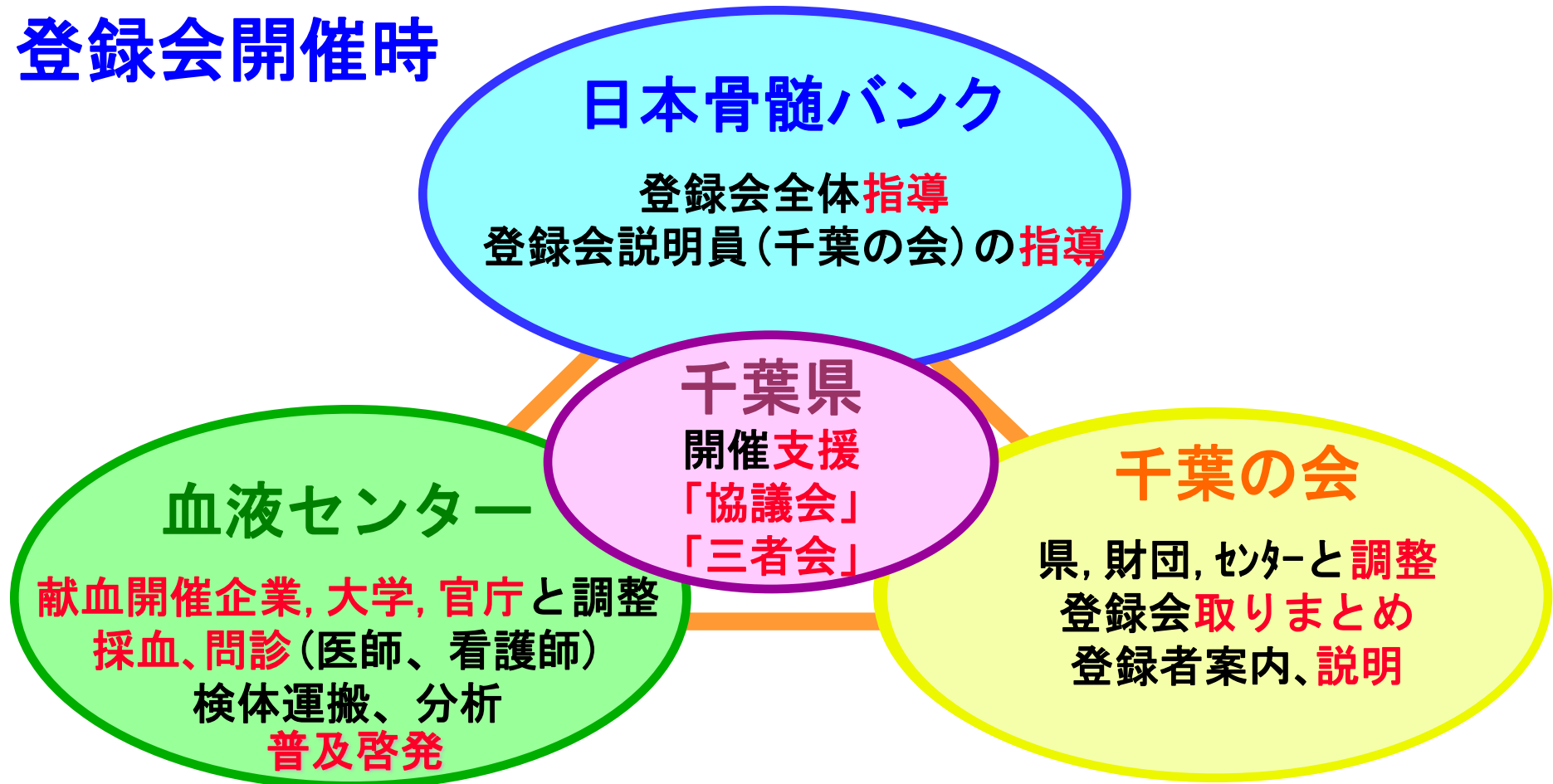
主な**活動内容**は、以下の**4つ**です。

1. 骨髄バンクの**普及啓発**と**ドナー募集**支援活動
2. 患者・家族の支援活動
  - \* 病気情報**ハンドブック**の発行・配布
  - \* **白血病フリーダイヤル**の設置・運営
  - \* **患者支援基金**による経済的助成活動
3. ドナー支援活動
  - \* パンフレットの配布
  - \* **ドナーサポートダイヤル**の設置・運営
  - \* **ドナー休暇・助成制度**の促進活動
4. **骨髄バンク**及び**医療充実**の要望活動



# 日本骨髓バンク、血液センター、県、千葉の会の関係

## 登録会開催時



「協議会」：千葉県造血幹細胞移植推進協議会 1回/年

「三者会」：県、血液センター、千葉の会の実務打合せ会議 1～3回/年





# 19年度の総括

- ◆千葉県内のドナー助成制度導入は、54市町村中37市町が導入。導入率69%。
- ◆ドナー休暇制度導入活動では、18年度に千葉県知事名で県内経済関係6団体に依頼書を出状。当会は「千葉県経営者協会」等に依頼した。19年度は導入を更に推進した。
- ◆11月30日(土)、成田市文化芸術センターで「骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会」を開催。入場者217名。護摩焚き、精進料理の会食も行い盛況だった。
- ◆5月3日(祝金)～5日(日)、幕張メッセ フリーマーケットで3日間連続で献血併行型登録会を開催した。登録者29名、説明受講者10名、献血者413名。延べ16名が説明員等で活動した。
- ◆市原市役所、浦安市役所、大多喜町役場等8箇所で「いのちの輝き展」を開催した。
- ◆11月9日(土)、10日(日)、代々木公園でスノーバンク(東京雪祭)登録会を関東4団体と共催した。登録者112人、献血者236名だった。
- ◆都道府県別の千葉県のドナー登録者数は、1ランク上がり12位となった。  
対象人口千人当りにおける登録者は、全国ワーストは3ランク下がり7位になった。
- ◆ケア帽子製作は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調。9病院へ500個寄贈した。
- ◆登録者減対応で献血併行型登録会の年間回数を235回→332回→369回と増加した。登録者は865名→938名→1,522名と増加。一方献血ルームでは登録者は550名→1,379名→781名と陰りが見え、対策が必要。
- ◆2月8日(土)、ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会で講演した。
- ◆説明員増を図るため11月10日(日)、もみのき薬局で講習会を開催。説明員11名増。  
2月8日(土)、13日(木)、18日(火)、千葉県生涯大学校京葉学園で説明員募集説明会(参加者計267名)を開催。
- ◆2月14日(金)、日赤献血、登録部門と献血併行登録会の課題について打ち合わせた。
- ◆中国武漢発祥のコロナウイルスが、日本中に蔓延し、登録会を感染防止対応で実施。



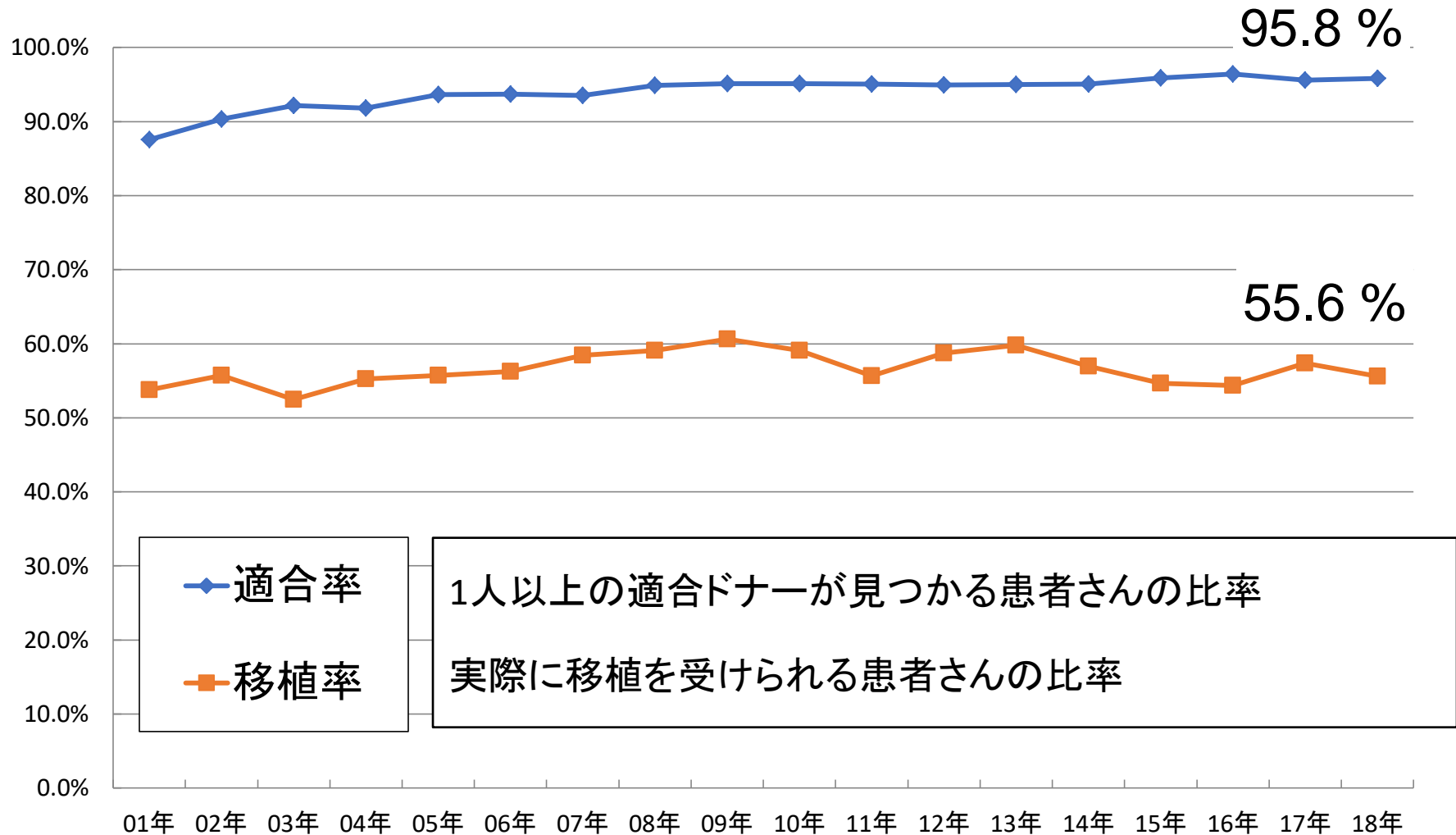
## 骨髄バンク／日本の現状

- ◆日本では毎年約**10,000**名が、**白血病**や**再生不良性貧血**という重い血液の病気を発病。
- ◆薬で治癒しない約**2,000**名が、**移植**を希望
- ◆日本のドナー（骨髄提供者）の登録者は  
20年3月末で  
**529,965**名（千葉県**18,032**名）
- ◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約**60%弱**しか移植を受けられていません。全ての患者さんが移植を受けられるようにするため、今後も一人でも多くの方の**ドナー登録が必要**です。  
**千葉県新目標 20,000名**  
→ **ドナー登録会**を多く開催（献血時の声掛けが重要）



# 国内患者のHLA（白血球の型）適合率と移植率

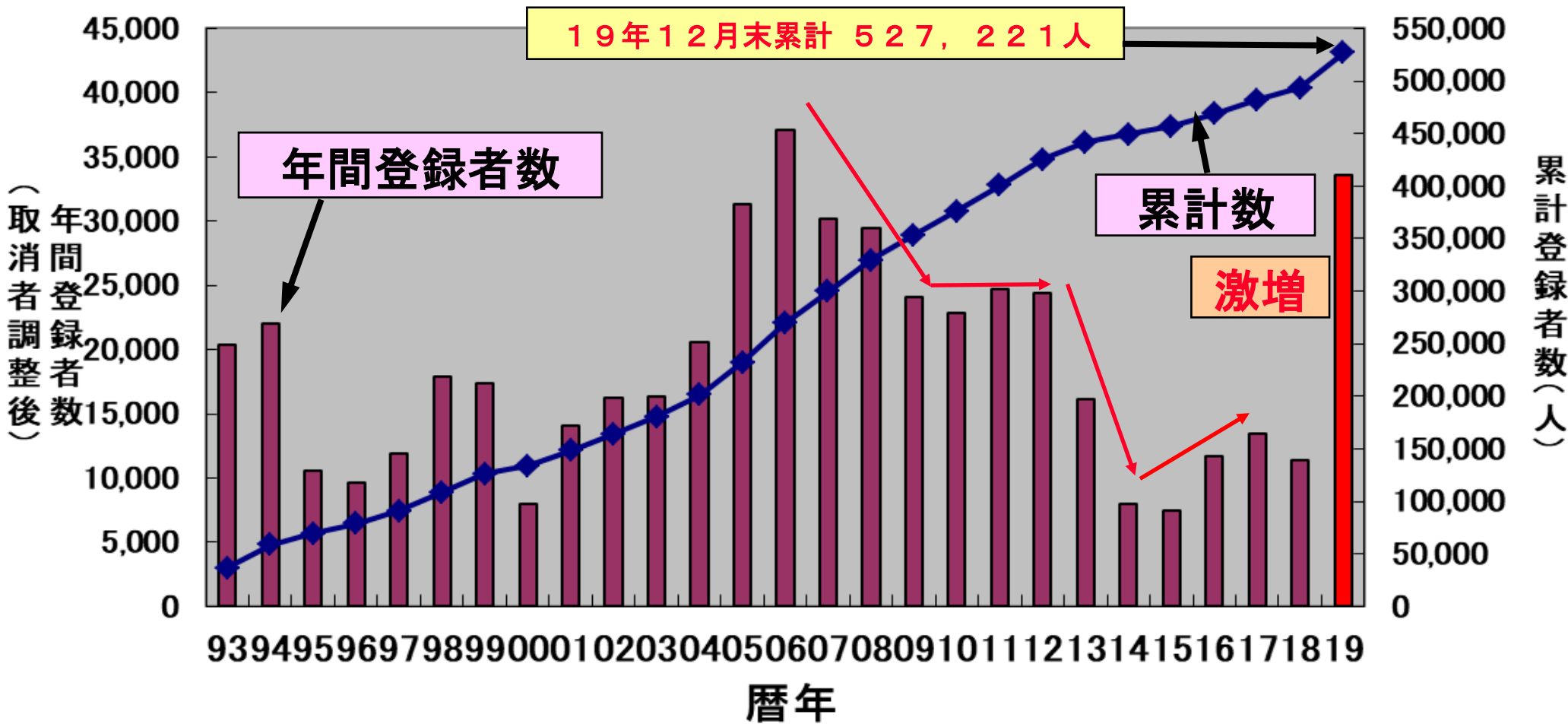
日本赤十字社、日本骨髄バンク調べ



※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数(国内ドナー+海外ドナー)の割合



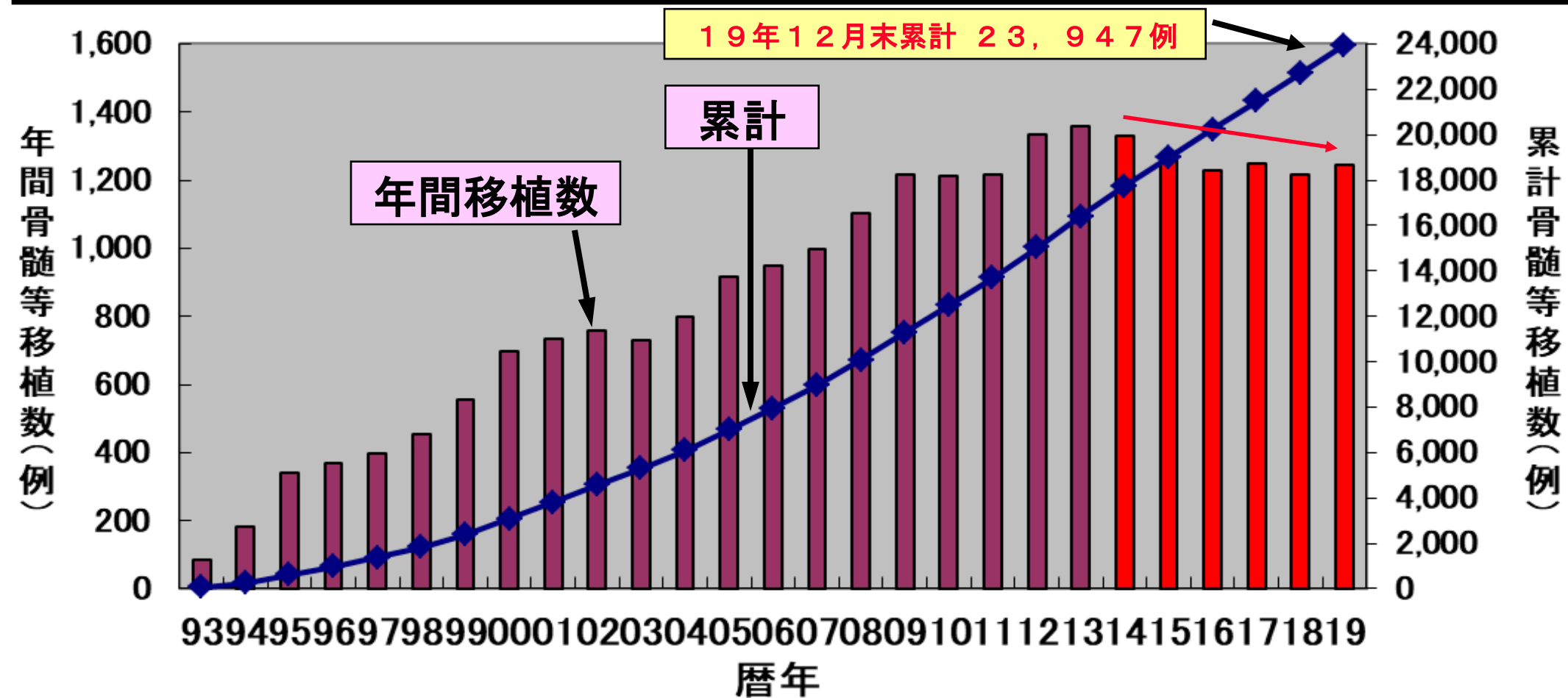
# 全国のドナー登録者数実績



◆登録者数は過去最高だった06年以降、広告機構広報が無くなった影響等で15年まで減ったが、**広報活動や登録会開催の強化等で回復。19年は池江さん効果で激増。19年12月末、累計527,221人。**



# 全国の骨髓・末梢血幹細胞移植実績



◆年間移植数(暦年)は、13年に過去最高(1,360例)を更新。その後、さい帯血移植の増加等の影響もあり若干減少傾向。19年12月末、累計23,947例。

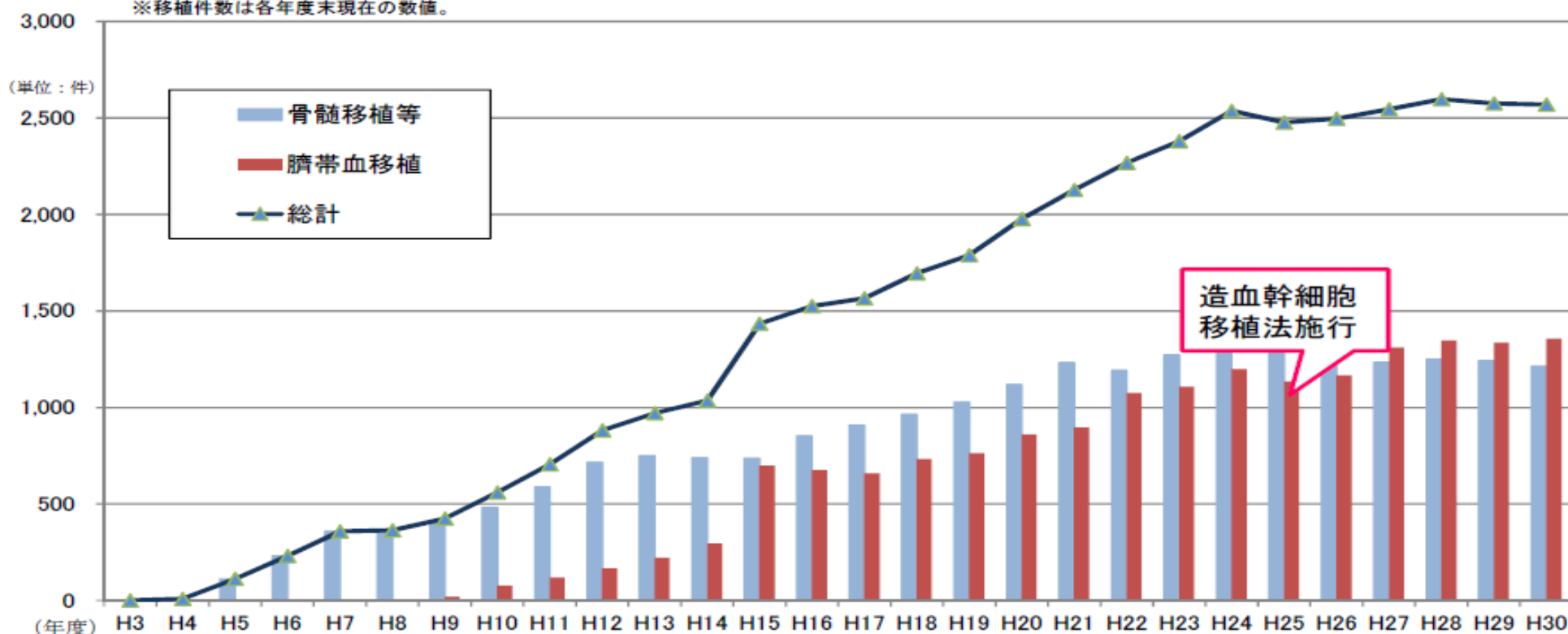


# 全国の造血幹細胞移植実績

19年11月28日 第56回 (厚生労働省) 造血幹細胞移植委員会資料

## 造血幹細胞移植実績の推移 (非血縁者間)

※ 骨髓移植等とは、骨髓移植と末梢血幹細胞移植をいう。  
※ 末梢血幹細胞移植は平成22年10月より導入されており、平成31年3月末現在、685例が実施されている。  
※ 移植件数は各年度末現在の数値。

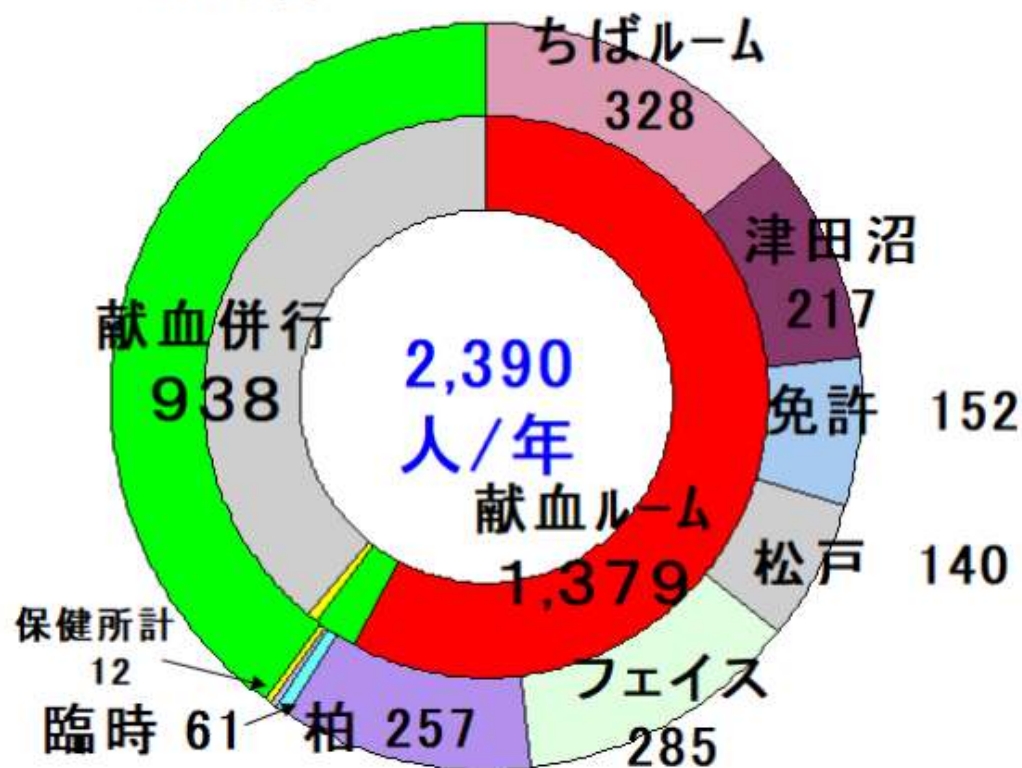


	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
骨髓移植等	0	8	112	231	358	363	405	482	588	716	749	739	737	851	908	963	1,027	1,118	1,232	1,192	1,272	1,338	1,343	1,331	1,234	1,250	1,241	1,214
臍帯血移植	0	0	0	0	0	1	19	77	117	165	221	296	697	674	658	732	762	859	895	1,075	1,107	1,199	1,134	1,165	1,311	1,347	1,334	1,355
総計	0	8	112	231	358	364	424	559	705	881	970	1,035	1,434	1,525	1,566	1,695	1,789	1,977	2,127	2,267	2,379	2,537	2,477	2,496	2,545	2,597	2,575	2,569

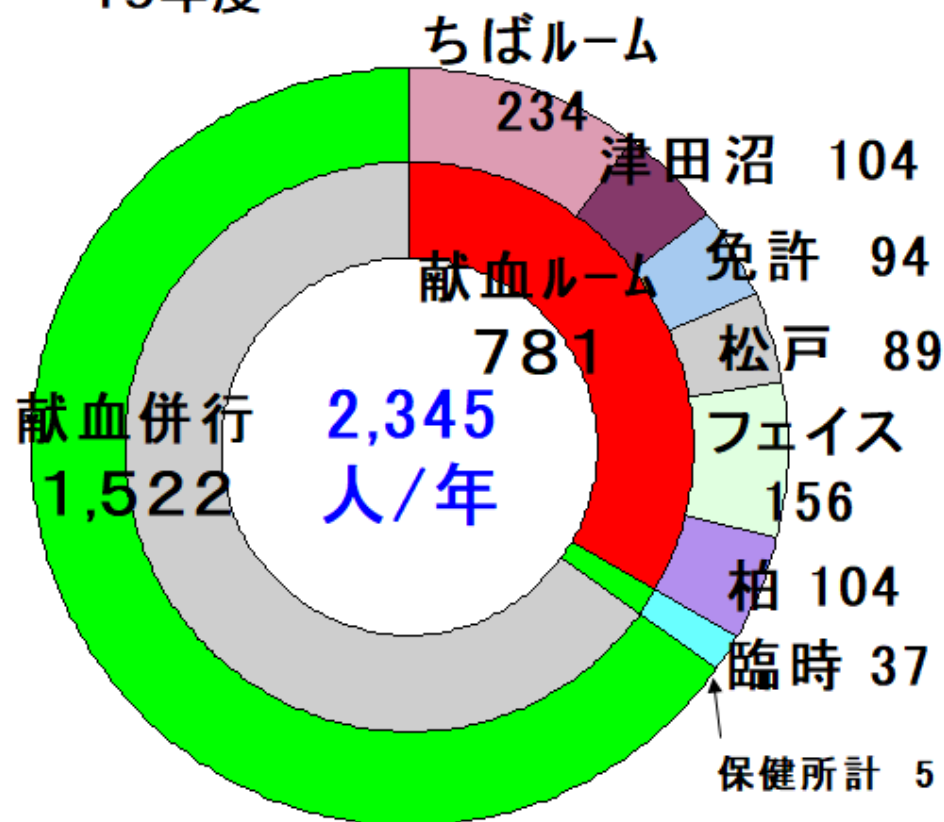


# 19年度千葉県のドナー登録実績

18年度



19年度



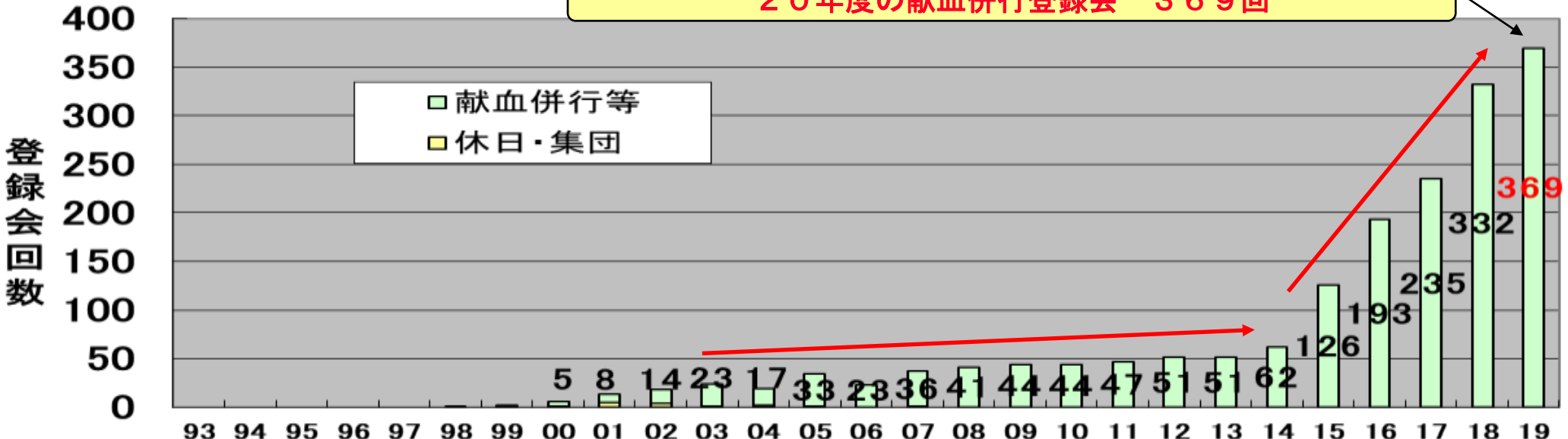
	献血ルーム	献血併行	他	計
17年度	550人	865人(235回)	25人	1,440人
18年度	1,379人	938人(332回)	73人	2,390人
19年度	781人	1,522人(369回)	42人	2,345人

◆18年度のルームは池江璃花子さん効果。19年度は併行の頑張。ルームの努力要す。

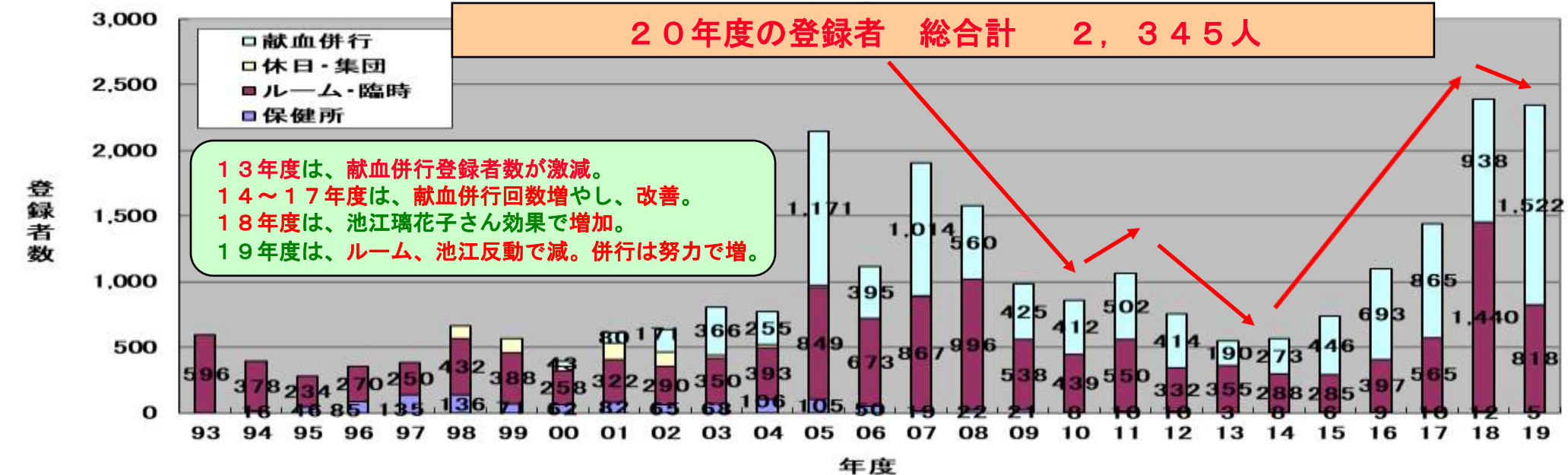


# 千葉県の年度別登録者数と登録会回数

20年度の献血併行登録会 369回



20年度の登録者 総合計 2,345人



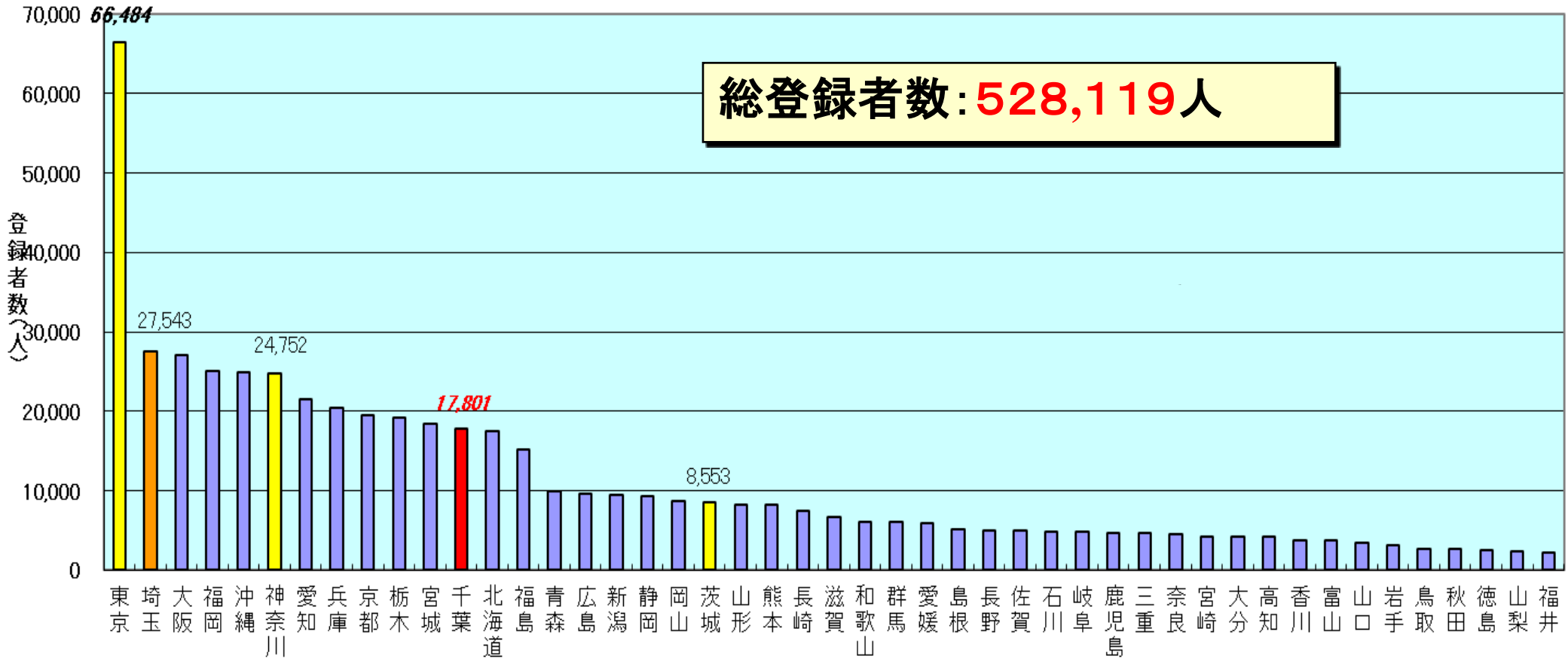
13年度は、献血併行登録者数が激減。  
 14～17年度は、献血併行回数増やし、改善。  
 18年度は、池江璃花子さん効果で増加。  
 19年度は、ルーム、池江反動で減。併行は努力で増。





# 都道府県別 ドナー登録者数

2020年1月末現在



- ◆ **千葉**は13～18年14位、19年13位、**20年12位にアップ**。
- ◆ **東京**1位、**埼玉**2位、**神奈川**6位変わらず。
- ◆ **沖縄**は19年の3位から**20年5位にダウン**。

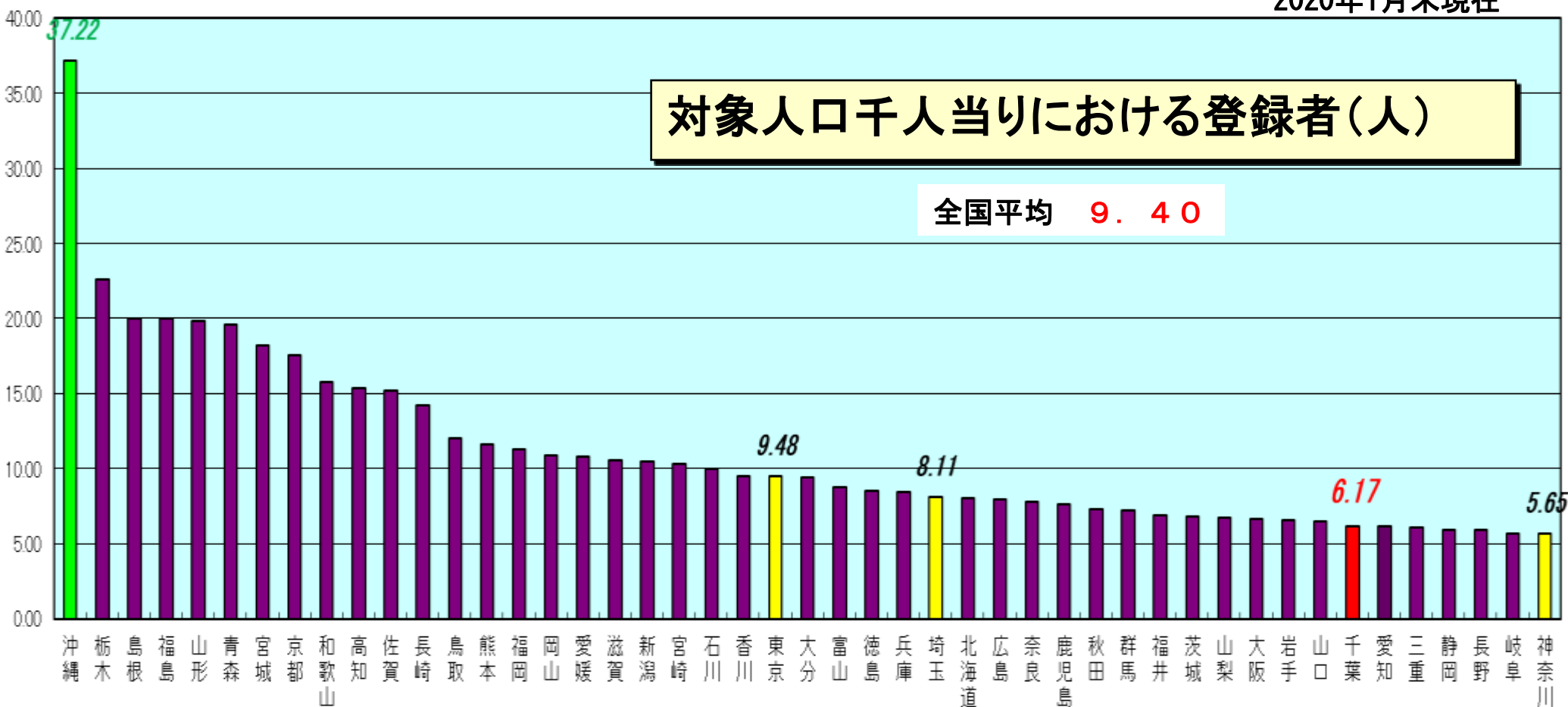


# 都道府県別 ドナー登録者割合比較

2020年1月末現在

対象人口千人当りにおける登録者(人)

全国平均 9.40

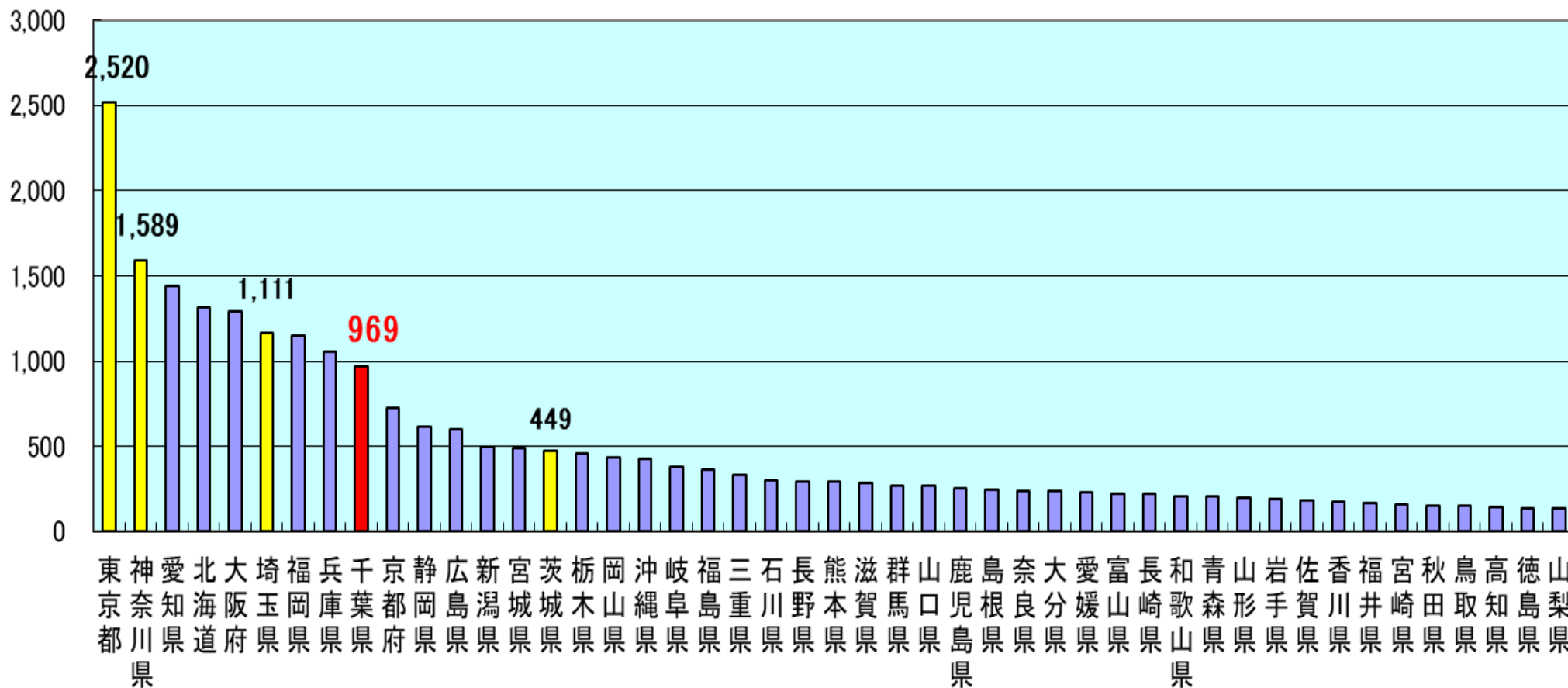


- ◆千葉県のドナー登録者割合は、昨年から3ランク下がり全国ワースト7位。  
(全国ワースト:19年7位、18年10位、17年7位、16年6位、15年5位、14年7位、13,12年8位)
- ◆沖縄は、他を凌駕する1位(37.22)継続。



# 都道府県別 骨髓液提供者数

2020年1月末現在



◆**千葉県の骨髓液提供者数は、13年から**  
**ベスト9位。**（12, 11年8位、10年7位）



# 2019年度(令和元年) 第29回総会

(船橋市19.5.12 船橋市勤労市民センター)

会場の船橋市勤労市民センター



梅田会長挨拶



18年度業務報告、19年度予算説明



牛島監事による監査報告



梅田会長 18年度活動実績報告



活発な質問と意見交換





# 日本骨髓バンク推進全国大会 (19.9.21 長野市アクティールホール)

会場の長野市アクティールホール



小寺日本骨髓バンク理事長挨拶



木下ほうかさん  
アンバサダー就任式



移植体者講演(笠原千夏子さん)



シンポジウム(ドナー登録者数全国ワーストからの脱出作戦会議！)



◆参加者 350名



# 全国骨髓バンク推進連絡協議会 全国大会2019

(19.5.18 山形県天童ホテル)

会場の天童ホテル



野田聖子 骨髓・さい帯血バンク  
議員連盟会長挨拶



パネルディスカッション①



パネルディスカッション②



心のバリアフリーセミナー加藤健一氏



田中重勝理事長挨拶



◆参加者 300名

◆全国大会2020(20.5.30)は、コロナのため縮小開催となった。



# 骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会①

(19. 11. 30 成田市文化芸術センターで開催)

## 骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会

& 元患者と骨髓ドナーの体験談

2019年11月30日(土)  
開場13:30 開演14:00

成田市文化芸術センター  
3階スカイタウンホール(JR成田駅前)



昨年の体験談風景

### 【スケジュール】

- 11:00 希望者のみ 御護摩修行(成田山新勝寺大本堂、無料) 及び精進料理(光輪閣、要予約・有料)
- 13:30 開場(成田市文化芸術センター)
- 14:00 開催市挨拶
- 14:05 ~ 14:45 落語会
- 14:50 ~ 15:10 元患者と骨髓ドナーの体験談
- 15:15 ~ 16:45 ピアノ三重奏 ポッパー: 組曲「森にて」より 作品50(チェロとピアノ) ラフ: カヴァチーナ(ヴァイオリンとピアノ) プロコフィエフ: 4つのエチュード 作品2(ピアノ独奏) ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲 第3番 へ短調 作品65



【チケット】コンサートと落語会 一般 2,500円、学生 1,000円、小学生以下不要  
全席自由席、当日券有り(この収益は全額骨髓バンク事業推進のために活用されます)  
精進料理 1,500円(別途)《名物「勝ちごぼう」をご堪能下さい》

【主催】千葉骨髓バンク推進連絡会  
 【共催】認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会(12代目市川團十郎氏は当会の前会長でした)  
 【後援】千葉県、成田市、成田市教育委員会、成田山新勝寺、日本骨髓バンク  
 千葉県赤十字血液センター、成田商工会議所、成田市東商工会、成田市観光協会  
 成田市商店会連合会、成田赤十字病院、成田グリーンライオンズクラブ、大栄ライオンズクラブ 協会HP



【チケット申込み】枚数、連絡先、精進料理の有無を記入して下記に送付してください(裏面参照)  
TEL/FAX 043-497-5083 メール 8ns3um@bma.biglobe.ne.jp (事務局北村)

### 出演者プロフィール

みと もとこ  
**三戸 素子**  
(ヴァイオリン)



新幹線大学卒業後、スイス・ヴュンゲルト大学音楽院を経てザルツブルグ・モーツァルト大学音楽学卒業後、V.オムロフ国立音楽院、ザルツブルグ大学にて指揮者、以来ヨーロッパ・韓国、北米諸国、アジア、中国など世界各地で活躍中。クライネン・コンツェルトハウス管弦楽団コンサートマスター。

おごろ ようけい  
**小澤 洋介**  
(チェロ)



トロント大学を経て、ザルツブルグ・モーツァルト大学音楽学卒業後、V.オムロフ国立音楽院、その後もヨーロッパ・アジア、中国、韓国、アジア各地で活躍中。多岐にわたる活動を開始中。クライネン・コンツェルトハウス管弦楽団首席。

たかた まさあき  
**高田 匡隆**  
(ピアノ)



新幹線大学卒業後、ニューヨークのマンハッタン、ハンガリー国立音楽院に留学。2006年より拠点をイタリア・ローマに移し、サン・チェチリア音楽院を2009年に一貫して卒業。同時にイタリア共和国大統領賞「シネゴリ賞」をイタリア政府より受賞。数々の国際コンクールでも入賞、活躍を見せる。東京日本赤十字会音楽部、第13回全日本音楽大会を企画、神奈川大学及び武蔵野音楽大学にてピアノ講師。

きつら しのぶ  
**桂 右女助**



1962年千葉県香取郡生まれ。芸術高校卒業。2000年、八代目市川小太夫に入門。2008年11月〜2012年秋まで、2013年「縁の書」にて第56回千葉文学賞受賞。2015年真打昇進。時代劇「桂 右女助」主演。同年「初音の日」にて第30回ちよだ文学賞受賞。千葉大学文学部在学中。(一社)落語協会所属。

はやしや ひこゆし  
**林家 彦星**



1990年福島県生まれ。早稲田大学文学部卒業。2015年9月1日林家五世に入門。2016年9月21日前座となる。

### 千葉骨髓バンク推進連絡会(千葉の会)

千葉骨髓バンク推進連絡会は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。  
また、造血幹細胞移植医療体制の充実を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて正しく理解して頂くための普及活動も行っています。

### チケット申込

◆ 枚数、連絡先、精進料理の有無を記入して右の番号にFAXしてください。 FAX 043-497-5083

一般チケット 2,500円	枚	学生チケット 1,000円	枚	精進料理 有り・無し	1,500円	枚
氏名						
住所	〒					
電話番号					FAX	



# 骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会②

(19.11.30 成田市文化芸術センターで開催)

新勝寺光輪閣で精進料理



成田山公園の紅葉



桂右女助師匠の落語



林家彦星さんの落語



三戸 素子さん、小澤 洋介さん、  
高田 匡隆さんの演奏



骨髓移植体験談



◆精進料理105名、入場者217名、協賛店39社と盛況だった





# ケア帽子の寄贈と展示

手作りのケア帽子



JR姉ヶ崎駅ギャラリーでの展示  
(18.10.1~10)



ケア帽子と一緒に寄贈した手作りグッズ



◆18年度は、10病院に520個寄贈

◆19年度は、9病院へ500個寄贈



# いのちの輝き展

20.1.7~26 大網白里市



19.11.5~20 浦安市役所



19.12.13~19 習志野市



19.11.1~25 市原市役所



19.10.27~11.3 八街図書館



19.4.30~5.13 君津中央図書館





# 関東・甲信越地区ブロックセミナー (20. 2. 29 こくみん共済COOP東京会館 新宿)

会場の「こくみん共済COOP東京会館」



田中全国協議会理事長の説明



熱心な報告と討議



熱心な報告と討議



活発な意見



活発な意見



◆全国協議会、千葉、東京、神奈川、埼玉、新潟、沖縄のボランティア19名が参加



イベントで普及啓発

# 野田夏まつり躍り七夕で普及啓発と説明会 (19. 8. 3~4)



◆説明受講者 6名



イベントで普及啓発

# 箱根駅伝で普及啓発(20.1.2、3)

## 2、3日の田町の様子





# ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会での講演

(20.2.8 千葉県経営者会館)

会場の千葉県経営者会館



講演の様子



講演を聞くライオンズの皆さん



講演の様子



**参加者 120名**



# 献血併行登録会（登録手続きの流れ）

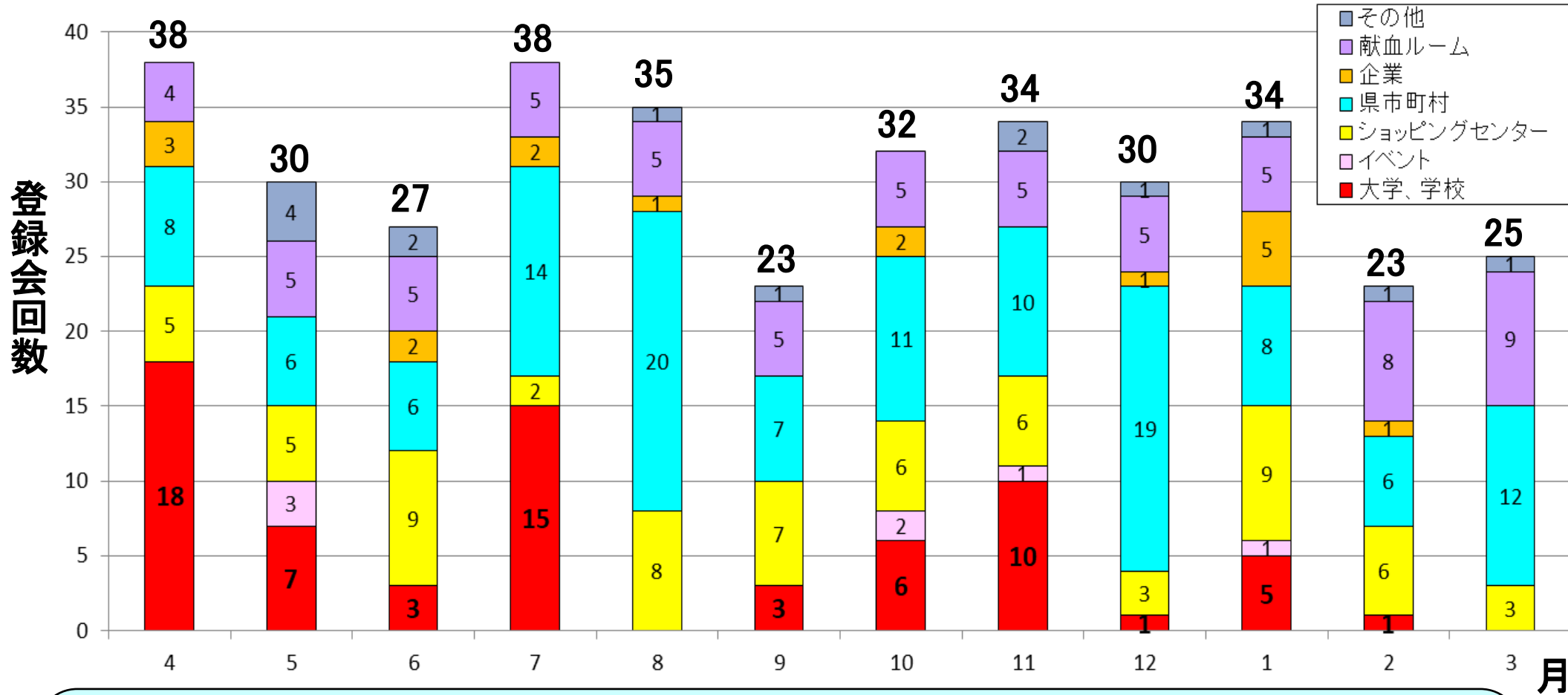
全工程で**15分程度**かかります

- ◆**受付**: 献血受付で献血手続き書類を記入後、登録受付をします。
- ◆**説明**: 説明員（**弊会ボランティア**）が、「登録手続き」記入要領を説明し、記入頂きます。
- ◆**問診、採血**: 千葉県赤十字血液センターの医師が問診をし、看護師が採血します。（献血用とは別に2ml採血して登録は終わりです）
- ◆**献血**: 血液センターの献血会場、献血車で献血下さい。
- ◆**ドナーカード**: 説明終了時にお渡しします。  
（万が一問診で不適と判定された場合は返却下さい）





# 19年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆ 19年度の登録会回数は、過去最高の**369回**になった。
- ◆ **大学での開催**に力を入れている。**69回**開催した。
- ◆ **県市町村127回**、**献血ルーム66回**、**ショッピングセンター69回**。
- ◆ **2, 3月はコロナの影響**で登録会がかなり**キャンセル**された。





# 献血併行登録会開催増に対する説明員増対応

もみのき薬局で



もみのき薬局での説明員講習会開催(19.11.10)



千葉県生涯大学校京葉学園



京葉学園での説明会120名(20.2.13)



京葉学園での説明会120名(20..2.18)



◆ **もみのき薬局**での講習会で説明員 **11名増**。(19.11.10)

◆ 千葉県生涯大学校京葉学園で**説明員募集説明会(計267名)**開催。(20.2.8、13、18)



開始前のミーティング



ゲレンデに多くの観客が



スノーボーダーの滑り



登録者が次から次へ



普及啓発活動、グッズ販売



ステージでの演奏



- ◆登録者 112名、献血者 236名。総責任者 梅田
- ◆千葉、東京、神奈川、埼玉のボランティア4団体が協働



献血併行登録会

〈イベント会場で〉

千葉骨髓バンク推進連絡会

# 幕張メッセどきどきフリーマーケット2019 での普及啓発と献血併行登録会 (19. 5. 3~5)

多くの方が登録に



献血の呼びかけ



お客さんで混合う会場

4日の参加者

5日の参加者



◆登録者 29名、説明受講者 10名、献血者 413名



献血併行登録会

# 大学での献血併行登録会

日本大学生産工学部  
(19.7.8)



千葉大学  
(19.7.8~12)



千葉工業大学新習志野  
(19.4.9)



城西国際大学  
(19.4.16、17)



明海大学  
(19.4.23)



植草学園短期大学  
(19.10.8)



神田外語大学  
(19.11.14、15)



順天堂大学さくらキャンパス  
(20.1.16)



- ◆若いドナーを募集するため大学開催に力を入れている。
- ◆新たな大学での開催を増やしている。
- ◆19年度は69回開催した。(昨年度は50回)



献血併行登録会

# 献血ルームでの献血併行登録会

船橋献血ルームフェイス(19.4.24、6.27)



松戸献血ルーム(19.7.18) 津田沼献血ルーム(19.7.22)



柏献血ルーム(19.9.21、20.1.25)



モノレールちば駅献血ルーム(20.2.13、20)



- ◆献血ルームで **5~9回/月** 開催している。
- ◆19年度は **66回**開催した。(昨年度は**58回**)



献血併行登録会

# 県市町村役場、保健センターでの献血併行登録会

千葉県庁(19.12.26~27、20.1.6~7)



柏市役所(19.5.10)



千葉市役所(19.9.11)



船橋市役所(19.8.26)



浦安市役所(19.10.25)



鴨川市役所(19.8.1)



君津市保健福祉センター  
(20.1.28)



- ◆ 県市町村での開催を強化している。
- ◆ 19年度は **127回**開催した。(昨年度は**133回**)



# ショッピングセンターでの献血併行登録会

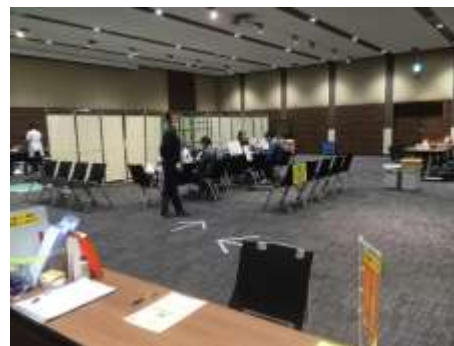
イオンタウン七光台  
(19.9.29)



イオンモール千葉  
ニュータウン (19.6.1)



イオンモール幕張新都心  
(19.11.17)



イトーヨーカドー四街道店  
(19.4.14)



ショッピングセンター  
サンモール (20.1.26)



ユニモちはら台  
(19.9.7)



フルルガーデン八千代  
(20.2.8)



ジョイフル本田君津店  
(20.1.20.)



- ◆ **不特定多数**の方が集まるショッピングセンターでの開催を**強化**している。
- ◆ 19年度は**60回**開催した。(昨年度は**56回**)



献血併行登録会

# 企業での献血併行登録会

住友化学袖ヶ浦地区  
(20.1.16)



荏原製作所富津  
(19.4.2)



日本製鉄君津  
(19.4.15)



富士通幕張システム  
ラボラトリー(19.6.27)



マブチモータークラブ  
(19.2.6)



カインズホーム茂原店  
(19.6.30)



ワールドビジネス  
ガーデン(19.12.26)



日本製鉄本部  
(19.8.20)



- ◆開催が少なかったので新会場を開拓し、強化した。
- ◆19年度は17回開催した。(昨年度は6回)





献血併行登録会

# ライオンズクラブとの献血併行登録会

JR新浦安駅前  
(19.5.12)



JR新浦安駅前  
(19.5.17)



JR新浦安駅前  
(19.6.8~9)



JR新浦安駅前  
(19.8.10)



習志野市役所(19.2.1)



茂原市保健センター  
(18.11.12)



旭市保健センター  
(19.2.13)



JR新浦安駅前  
(20.2.9)



◆献血活動に経験があるライオンズクラブとの協働活動を強化し、新たな交流を開拓したい。

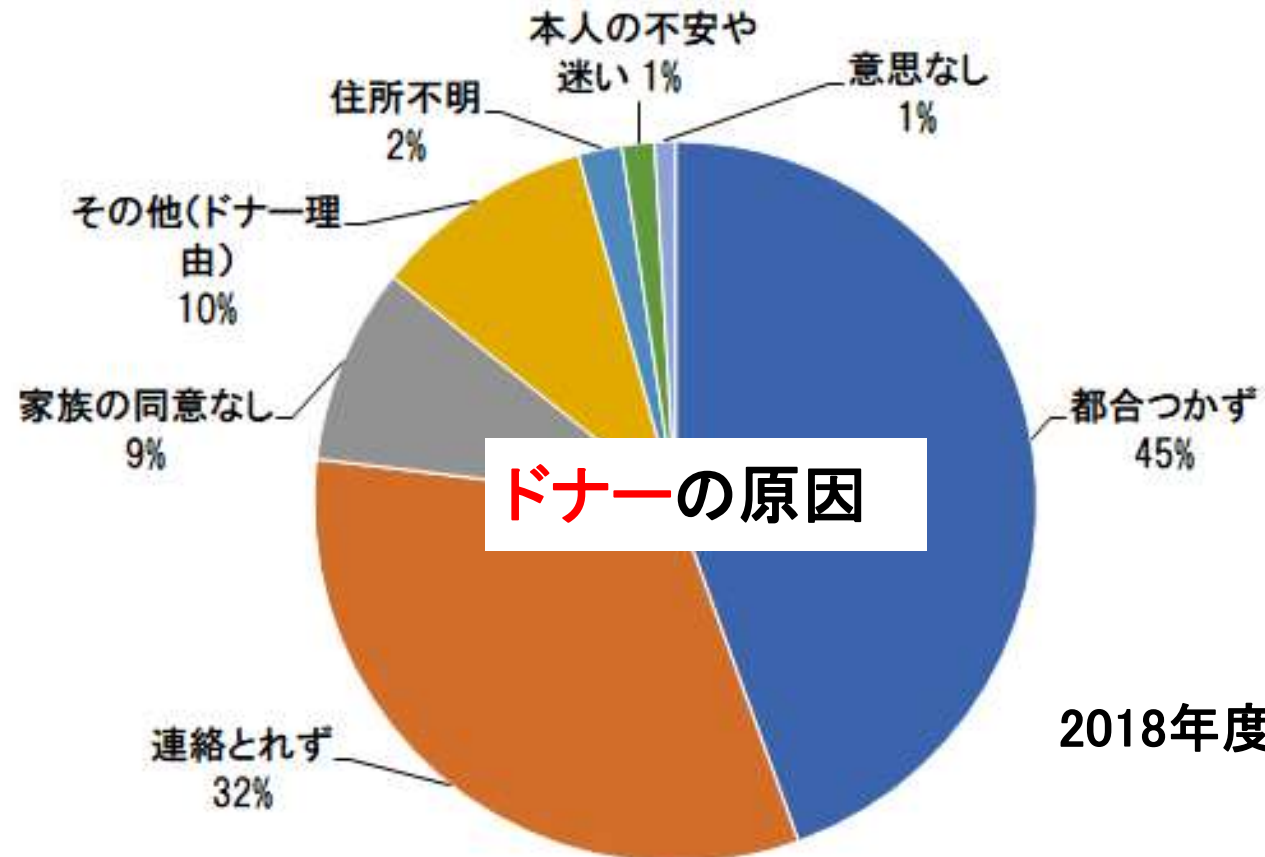


# 骨髓バンクの今後の課題

## 課題

骨髓移植を希望した患者さんの **60%弱**しか移植を受けられない。

## 原因



**ドナーの原因**

2018年度調査



# 課題への方策

## 方策(ドナーが原因の対応)

◆都合つかず ⇒ 休めない

**ドナー助成制度導入、ドナー休暇制度導入**

◆連絡取れず ⇒ ドナーリテンション

登録者の**提供意思**の維持

◆家族の同意なし ⇒ **普及啓発**、広報等の強化

◆その他

\*ドナー登録者減(**ドナ一定年増**) ⇒ **登録会増**

\***健康理由** ⇒ **若年層ドナー増**

**大学**での登録会増



# 千葉県のドナー助成制度の現状①

## ◆ドナー助成制度とは

平成23年度に新潟県加茂市で初めて導入されて以来、全国の自治体が導入する骨髄提供者を支援するための骨髄移植ドナー支援事業助成金制度。

## ◆ドナー助成制度を制定している都道府県(20年2月14日現在)

41都府県626町村、1団体(高知県黒潮ライオンズクラブ)

①埼玉県(63全市町村で導入)、②東京都(50)、③愛知県(41)、④岐阜県(39)、  
⑤千葉県(37)、⑥群馬県(35全市町村で導入)、山形県(35)、⑧茨城県(31)

## ◆千葉県の助成補助制度の概要

\* 同制度(事業)は、17年8月4日導入され、17年4月に遡って適用された。

骨髄・末梢血幹細胞移植の促進のため、①ドナー及び②そのドナーの従事する事業所  
に対して市町村が助成金を交付した際に、その金額の1/2を補助する制度。

## ◆千葉県内のドナー助成制度導入の市町村(20年1月27日現在)

\* 54市町村中、37市町が導入。導入率69%。

\* 習志野市: ドナーに10万円/回、ドナーの勤務する会社に5万円/回

\* 船橋市: ドナーに2万円/日(7日上限)、ドナーの勤務する会社に1万円/日(7日上限)

## ◆千葉県内の最近最近9年間の骨髄提供者数

19年度:46人、18年度:46人、17年度:52人、16年度:47人、15年度:43人、14年度:55人、  
13年度:55人、14年度:46人、13年度:44人 (概ね人口約12万人当たり1人の提供者)



# 千葉県のドナー助成制度の現状②

関東7都県の骨髓バンク・ドナー助成制度導入状況

令和2年2月14日現在

		市町村数	ドナー助成制度 導入数	導入率 (%)	県の補助制度導入時期
1	埼玉県	63	全市町村	100	平成26年度から
1	群馬県	35	全市町村	100	平成28年度から
3	東京都	62(23区含む)	50	81	平成27年度から
4	栃木県	25	19	76	平成29年度から
5	茨城県	44	31	70	平成28年度から
6	千葉県	54	37	69	平成29年度から
7	神奈川県	33	18	55	平成30年度から

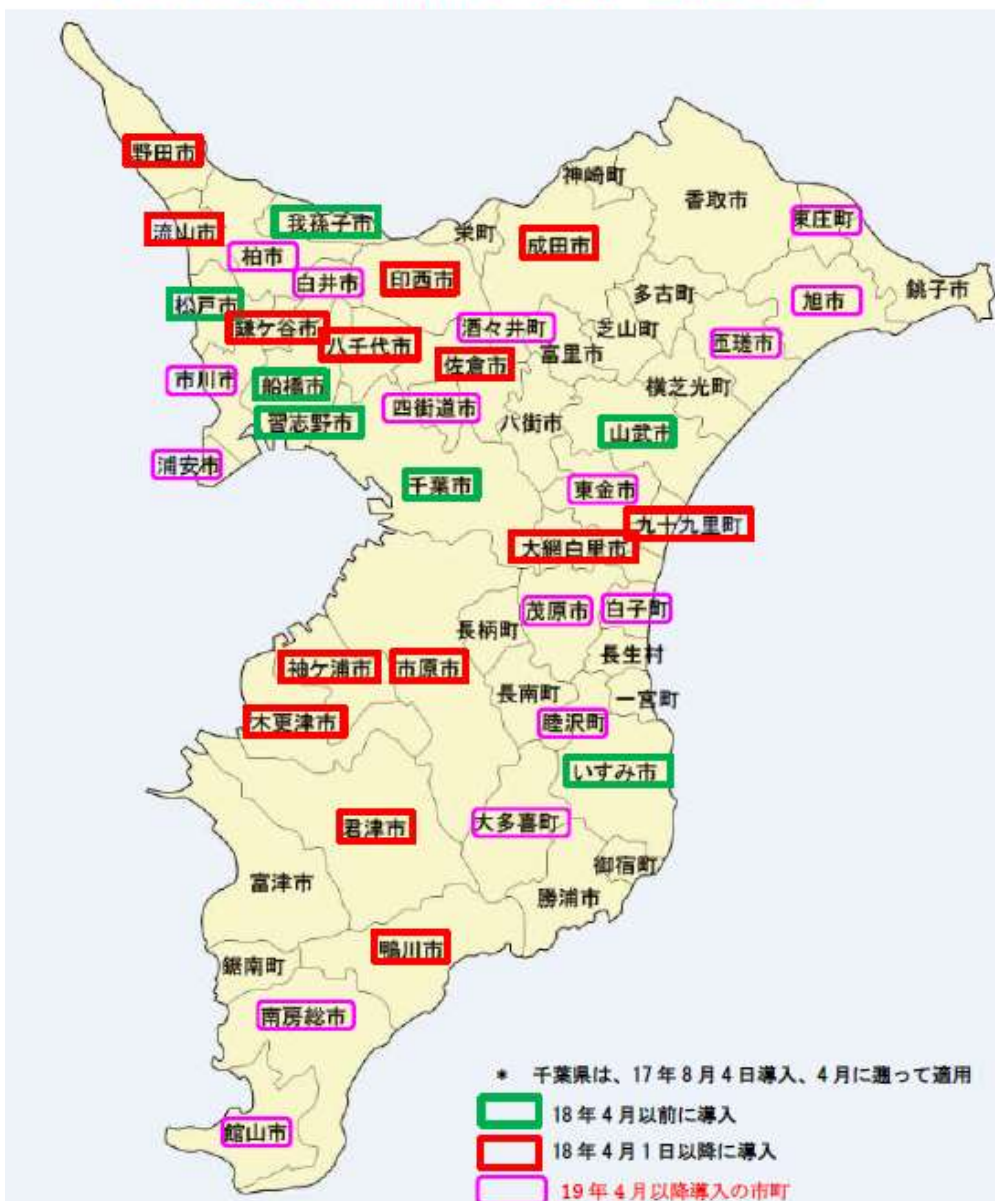
(注) 全国では626市区町村が導入。

- ◆市町村の役所、健康福祉センター等の施設で献血併行登録会を開催したとき、会員が直接市町村の担当に導入をお願いしている。
- ◆県議会議員、市議会議員に面談し、導入をお願いしている。



# 千葉県のドナー助成制度の現状③

20. 2. 14 現在、54 市町村中 37 で導入 導入率 69%



## 未導入の市町村

栄町、神崎町、香取市、八街市、富里市、芝山町、多古町、銚子市、横芝光町、長柄町、長南町、長生村、一宮町、富津市、鋸南町、勝浦市、御宿町

以上17市町村



# 千葉県でのドナー休暇助成制度導入について

## ◆ドナー休暇制度

骨髄・末梢血幹細胞提供をする場合、提供までに8回前後、平日の日中に医療機関へ出向きます。その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を特別休暇として認めるのが「ドナー休暇制度」です。

## ◆ドナー休暇制度導入活動

- \* 18年5月に千葉県知事名で県内の経済関係6団体に「ドナー制度導入の整備・広報」について依頼書を出状頂きました。
- \* 18年5月に薬務課長名で県内各商工会議所会頭に「ドナー制度導入の整備」について依頼書を出状頂きました。
- \* 千葉の会では、上記を受けて「千葉県経営者協会」を訪問し、導入依頼をしました。その結果同会の会報442号に休暇制度の記事が掲載されました。他に「千葉県中小企業家同友会」、「千葉県中小企業団体中央会」、「千葉県商工会議所連合会」を訪ね、導入依頼をしました。
- \* 千葉の会では19年も引き続き県議会議員、市議会議員と面談し、経済関係団体への働き掛けをお願いしています。

◆ドナー休暇助成制度導入は、ドナーの環境整備の観点から国が19年度予算で支援することになり、国会答弁で安倍首相も言及している。（一般企業の導入率は大企業の数%に留まる）



# ドナー環境整備

(18.12.20 厚生労働省 第54回造血幹細胞移植委員会)

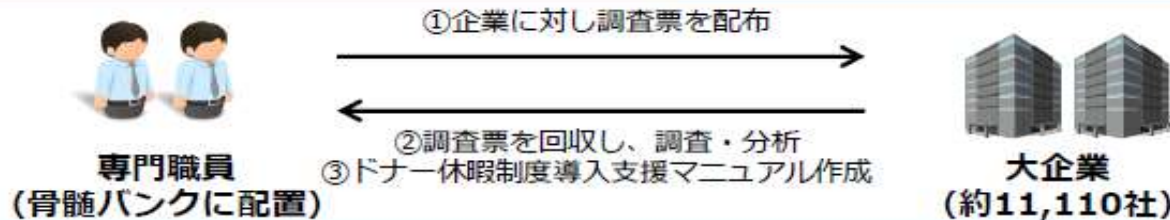
## 目的

- より円滑な移植の実施のため、日本骨髓バンクを介した非血縁者間の骨髓・末梢血幹細胞移植のコーディネート期間を短縮することが重要。
  - コーディネート期間短縮化の課題の一つとして、働きながらドナーになる方にとっては、休暇が取れない、会社の理解がないなど、仕事の都合等を理由にコーディネートが終了となる割合が3割超存在している。
- ⇒上記を踏まえ、働きながらドナーとなる方の環境整備を行い、骨髓等移植におけるコーディネート期間短縮につなげる。

## 内容

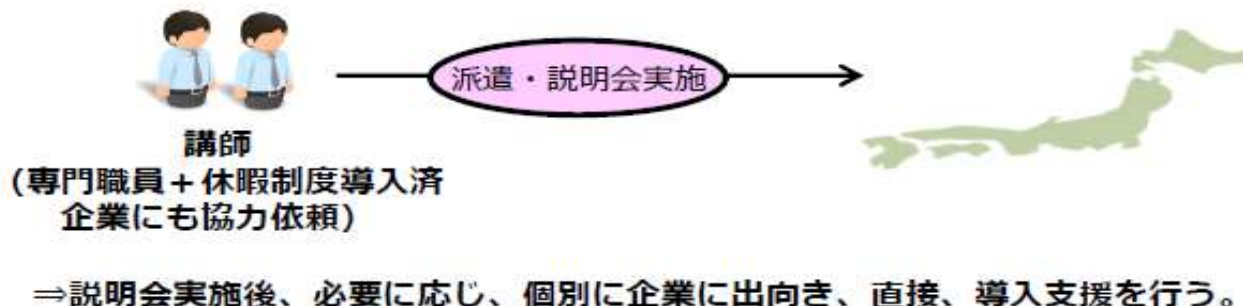
- 日本骨髓バンクにドナー休暇制度導入に係る専門職員を配置し、企業に対する実態調査、導入支援マニュアルを作成し、さらに企業向け説明会を開催し、必要に応じて個別に企業を訪問し、ドナー休暇制度導入の支援を行う。

### STEP 1 : 企業向け実態調査・マニュアル作成



- アンケート調査結果により、企業の休暇制度導入にあたっての問題点・課題を整理。
- 問題点・課題を踏まえ、ドナー休暇制度導入にあたっての導入支援マニュアルを作成

### STEP 2 : 企業向け説明会開催



- 骨髓等移植の認識向上及び重要性を広めるとともに、休暇制度導入済の企業から講師を派遣し、導入にあたってのプロセスやメリット等を説明いただくことにより、説明会参加企業のドナー休暇制度の導入意欲を促進する。
- 必要に応じ、個別に企業に出向き直接支援を行うことで、企業の実情に即した導入設計を提案する。





# 若年層ドナー登録者確保対策

(18.12.20 厚生労働省 第54回造血幹細胞移植委員会)

## 目的

- ・ 骨髓バンクドナー登録者のうち、最も多い年齢層は平成29年末時点で44歳（平成19年末時点は35歳）と高齢化が顕著になってきており、高齢ドナーは健康理由等によりコーディネータリタイアとなる割合が高い傾向にある。
  - ・ 骨髓等のドナーとなることができる（骨髓等の提供ができる）年齢は54歳以下となっているため、今後、ドナー数の減少が危惧され、コーディネータへの影響が懸念されている。
- ⇒上記を踏まえ、骨髓等移植における安定したドナー確保の観点から、若年層ドナーの確保に努める。

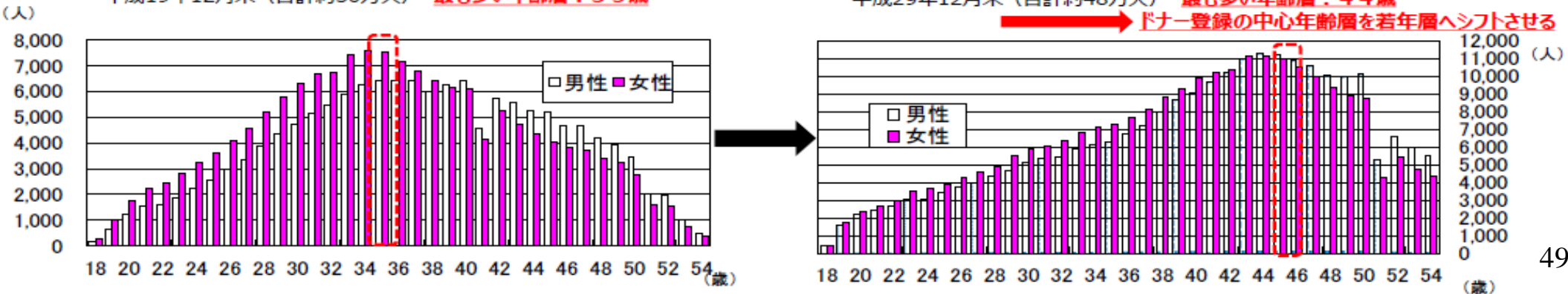
## 内容

- ・ 実際に若年層が多く集まる献血ルームに、献血に関する知識及び骨髓移植に関する知識を習熟した骨髓バンクの登録説明員等を、骨髓バンクが指定する日時・場所に派遣し、若年層ドナーの確保を図る。



平成19年12月末（合計約30万人） 最も多い年齢層：35歳

平成29年12月末（合計約48万人） 最も多い年齢層：44歳  
ドナー登録の中心年齢層を若年層へシフトさせる



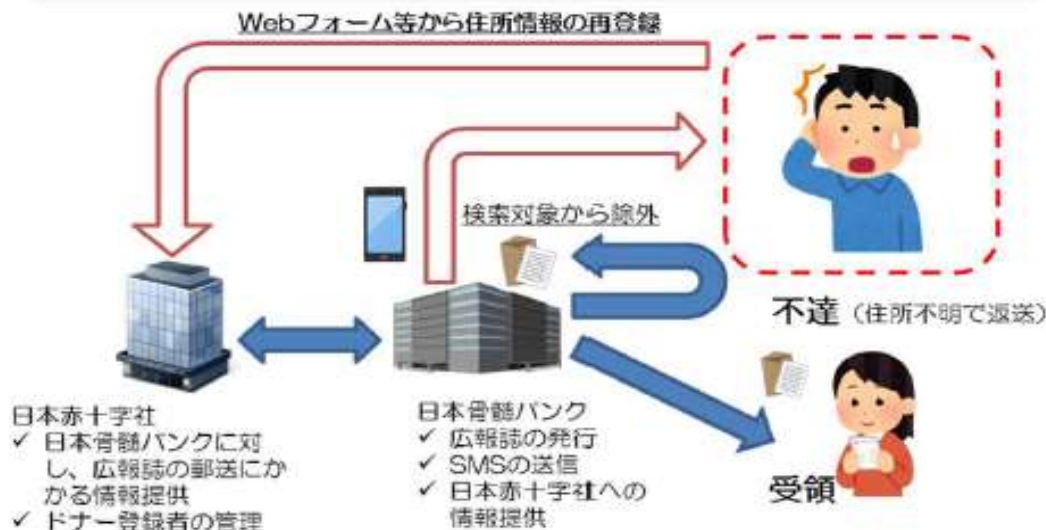


# SMSを活用したドナーリテンション策

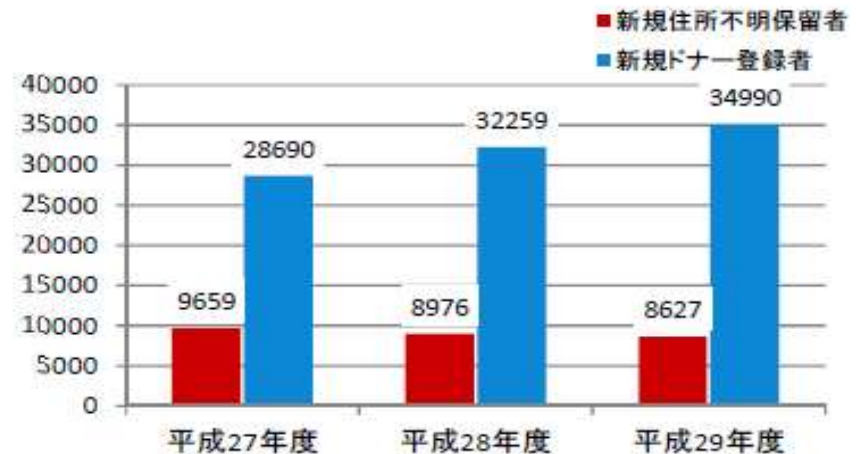
(住所不明保留者への対応) 19. 11. 28 厚生労働省 第56回造血幹細胞移植委員会)

- 日本赤十字社が管理する情報に基づき、ドナー登録者に対して1年に2回発送している広報誌が住所不明のために一度返送されたドナー登録者は、コーディネート開始に必要な書類を送付できないと判断され、「住所不明保留者」として、ドナー検索の対象から除外される運用となっている。
- 近年では、毎年約8,000～9,000人のドナー登録者が住所不明保留者となっている。  
(平成30年3月末現在で、約8万人の住所不明保留者が存在)
- 住所不明保留者への対応として、ドナー登録者の約80%は携帯電話の番号を登録していることから、日本赤十字社・日本骨髓バンクが連携し、住所不明保留者に対して住所情報の更新を呼びかける内容のSMSを送信し、情報の更新を促すことで住所不明保留者を減らすためのトライアル事業を令和元年度に実施。

## SMSを用いたトライアル事業の概要



## 新規のドナー登録者・住所不明保留者比較





## 千葉県造血幹細胞移植推進協議会（20.3.12）での要望

1. 県内のドナー助成制度未導入の市町村に引き続き導入を促進頂きたい。
2. ドナー休暇制度導入は、引き続き県内経済関係団体へ今年度も働きかけ頂きたい。
3. ドナー一定年者が毎年2万人／年 いる対策として、献血併行登録会を19年度は370回開催見込みだが、説明員手配に苦慮している。19年度は説明員研修会開催の紹介を頂いたが、千葉の会も高齢化が進んでいることから薬務課で研修会を開催を頂きたい。
4. 薬務課所管に「千葉県献血推進協議会」があるが、委員に「ドナー登録推進」の協力要請をして頂けないか。
5. 献血併行登録会について日赤献血部門、登録部門と課題の対応を打ち合わせた。  
引き続き開催継続のフォロー頂きたい。
  - (1) 登録会場の効率運用と改善
    - ①登録者の少ない会場は、間隔を空ける
    - ②自衛隊、消防学校での開催復活
    - ③新たな大学、ショッピングセンター開拓
    - ④献血併行登録会会場の日赤、千葉の会の行動マニュアルの完成。
    - ⑤献血ルームは、18年度の池江璃花子さん効果の陰りが出ているので、努力願いたい。
  - (2) 献血時の登録会開催の声掛けの徹底
6. 今年はアクアラインマランがあるが、今回も普及啓発活動に支援頂きたい。
7. 今年の「コンサートと落語会」は、11月21日(土)に成田市文化芸術センターで行う。  
広報で支援願いたい。